

水俣病に考える

(16)

「われわれが、水俣病を考えなければならぬというデータを出して、きまるとしても、基本的な研究の対策の「働き」が水俣病という形で現れたとみるので

大補 そうだとする。排水（下）か、その浄化とかは、外国ではたいへん法的にはつきりしているようだが、日本はその点ルースな気がする。日本人はとくに魚をよく食べる。また魚は重要なたん白源でもあるのだから、排水問題はいまほどきまえてもらえない。

武内 外国ではちやんとした研究機関があつて、たとえばこれ

武内 有機水銀が原因とわかったときたれも賛成しなかつた。その後、有機水銀を使った水虫の薬が出回って、七人が水俣病と同じ病状になり三人が死んだ。果敢で「水俣病」を名づけたのは、武内、不明疾患がしたの、

武内



武内 武内 有機水銀が原因とわかったときたれも賛成しなかつた。その後、有機水銀を使った水虫の薬が出回って、七人が水俣病と

このように傾向が自分にある。人命にかんするところは「フェア」にやらないと、今後公害は納えない。水俣病ほどはつきりした原因がわかつたものは、恐ろくないのじゃないか。早く原因が明らかになり、早い対策さえ打てば災いは少なくてすむし、お互い得なのだ

武内 二の水俣病を研究して、具体的な対策を講じて、公害を知らせておいてほしいと、



武内 二の水俣病を研究して、具体的な対策を講じて、公害を知らせておいてほしいと、



伊藤 排水問題は水俣病が大きな経験になったので



内田 工場は周辺の社会に被害を及ぼさないように、



私に医師会としてより一市民として



三沢 われわれの側からすれば県国がやる、

公害対策は早急に

今後は煙害とニオイか

やることに、これを第一義に考え

てもういたい。これは県の義務だとも思う。

伊藤 排水問題は水俣病が大きな経験になったので

武内 二の水俣病を研究して、具体的な対策を講じて、公害を知らせておいてほしいと、

伊藤 排水問題は水俣病が大きな経験になったので

出席者

熊大医学部長

忽那 将愛氏

武内 忠男氏

熊大教授(生化学)

内田 慎男氏

熊大助教授(内科学)

徳臣晴比古氏

県事務課長

伊藤 蓮雄氏

水俣市立病院院長

大橋 登氏

水俣・東北医師会長

浮池 正基氏

新日産水俣工場事務部長

三沢 隆夫氏

聞き手・本社

福田 隆義局長

県警機動隊副隊長

考えてもらわねばならぬ。

三沢

「公害を考える会」へついでついで

してもらった。

武内 必要ですね。特に新南郡

市となれば工場が立ち並ぶわけ

だから今工場が防止施設をやら

なければダメだ。カネの無い工場は

やらなければ意味をなさない。い

ずれにしてもまず国民の「拒絶」

という点を念頭に置いてもらいた

い。

内田 きちっとした基礎と対策

があれば、人命の損失はもっと少

なくてすむ。公害対策はいかに大

学があっても単独での研究は無理

だし、組織の力が必要だ。その

意味からも早い対策が欲しい。

しかしなんです。問題はやはり

「政治の貧困」ということがいつ

もあつてこつて被害を及ぼして

るようですな。

大橋

それと感

害だけの

責任にせ

ず、公害

というこ

とで政府も

っと責任を

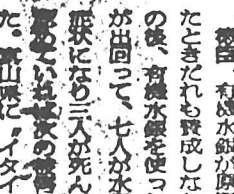
感じ、一

とで政府もっと責任を感じ、一般も認識して早く積極的な救済の手を考へてもらいたい。将来の運命はわかりたくない患者たちのために、どうかお願ひします。

「公害を考える会」(あわび)



この水俣病を研究する機関があつて、またした。



武内 不明疾患がしたの、

「われわれが、水俣病を考えなければならぬというデータを出して、きまるとしても、基本的な研究の対策の「働き」が水俣病という形で現れたとみるので

大補 そうだとする。排水（下）か、その浄化とかは、外国ではたいへん法的にはつきりしているようだが、日本はその点ルースな気がする。日本人はとくに魚をよく食べる。また魚は重要なたん白源でもあるのだから、排水問題はいまほどきまえてもらえない。

武内 外国ではちやんとした研究機関があつて、たとえばこれ

武内 有機水銀が原因とわかったときたれも賛成しなかつた。その後、有機水銀を使った水虫の薬が出回って、七人が水俣病と